

推薦理由

- ①創立 110 年目の県下有数の伝統校、進学校であり、制約された練習時間のもと、文武両道を実践している。
- ②秋季県大会はベスト 16 尾張地区大会優勝
- ③地域の清掃及び奉仕活動も積極的に行っている。

愛知県立津島高等学校紹介

明治 33 年（1900 年）愛知県第三中学校として開校した。

本校はその後、大正 11 年愛知県立津島中学校と改称し、昭和 23 年津島中学と津島高等女学校が統合され、現在の愛知県立津島高等学校となった。本年は創立 110 周年の記念の年となり、盛大に記念式典が挙行された。卒業生は 3 万 5000 人程となり、全国で活躍している。

校訓の「知・仁・勇」の三稜精神のもと調和ある人間形成を図り、自主・自律の精神に満ちた人格の育成にあたっている。

津島高校野球部は、開校二年目の明治 35 年（1902 年）に正式に野球部が発足し、愛知一中と最初の練習試合が行われたと記録されている。全国高等学校野球選手権愛知大会の前身の全国中等学校野球選手権愛知大会への初参加は大正 14 年第 11 回大会である。唯一甲子園への出場は昭和 22 年の第 19 回全国選抜中等学校野球選手権大会である。松江中学には 1-0 で辛勝したものの、桐生中学には 3-2 で惜敗した。これ以後野球部員は奮闘・努力したが、残念ながら出場機会に恵まれなかった。

現在の野球部は部員 42 名（マネージャー 3 名含む）、授業後を中心に少ない練習時間で効率よい練習を心掛けている。特に地域に愛される野球部をめざし、学校周辺の清掃奉仕、挨拶の励行など、野球人といわれる前に、爽やかな高校生をめざし、毎日活動している。

最近の戦績を振り返っても、県大会出場はもちろんのこと、尾張地区大会では 7 年間で優勝 4 回、全尾張大会では準優勝 3 回と尾張地区の強豪校としてがんばっている。現チームにおいては新チーム以来、公式戦 13 勝 2 敗という戦績を残し、110 年の節目の年ということもあり、地域・OBからの期待も熱く、それが部員の励みとなっている。